

平成 28 年度

監 査 報 告 書 V

(行政監査)

飯 田 市 監 査 委 員

28 飯監第 92 号
平成 29 年 3 月 31 日

飯田市長 牧野光朗様
飯田市議会議長 木下克志様
飯田市教育長 代田昭久様

飯田市監査委員 加藤良一
飯田市監査委員 北澤福一
飯田市監査委員 中島武津雄

監査結果の報告について

地方自治法第199条第2項の規定により実施した、平成28年度行政監査の結果を、同条第9項の規定により報告します。

なお、同条第12項の規定により、監査結果に基づき、又は監査の結果を参考として措置を講じたときは、その旨を監査委員に通知してください。

第1 監査のテーマ

行財政改革について

第2 監査の目的

市の行財政運営の効率化を促すため、行財政改革大綱の目的に沿って、経済性、効率性及び有効性等の観点重視した行政監査として、より深く掘り下げた監査を実施する。

また、行財政改革の実施状況について評価し、有効有用な事項は庁内拡充につなげることで、行財政改革の推進に寄与する。

第3 監査の期間

平成28年10月28日から平成29年3月28日まで（面接監査は平成29年2月7日に実施）

第4 監査の対象

監査委員の合意により抽出した4つの部局等の長から推薦のあった4課を対象とした。

- (1) 市民協働環境部 ムトスまちづくり推進課
- (2) 健康福祉部 子育て支援課
- (3) 産業経済部 工業課
- (4) 教育委員会 生涯学習・スポーツ課

第5 監査の方法

行財政改革大綱に基づく課の取組（総括）、行財政改革大綱「7重点的に取り組む事項」の取組状況等の調書及び平成24年度から平成28年度までに交付した負担金、補助金及び交付金の調書を監査資料として求め、書類監査及び面接監査により課等の長及び関係職員から説明を聴取した。

なお、監査資料のほか参考とした資料等は次のとおりである。

- ・飯田市行財政改革大綱
- ・飯田市行財政改革大綱における改革プラン（実行計画）
- ・事務事業実績評価表
- ・指定管理者制度による施設の管理状況評価表

第6 監査の着眼点

飯田市行財政改革大綱に基づき、市が執行する事務における行財政改革の取組状況及び検討や見直しを進めている状況を確認した。

また、財政的な効果のみならず、市民に信頼される行政サービスの向上や市民との協働のまちづくりの推進など、行財政改革に取り組むことによって現れる効果的な影響や成果について確認した。具体的な視点は次のとおり。

- (1) 飯田市行財政改革大綱「6 行財政改革の基本方針」による考え方
 - ① 飯田市基本構想基本計画を着実に推進していくために必要となる財源を確保するとともに、人口減少に対応する考え方を持って、事務事業全般の精査や施設のあり方の検討を行い、持続可能な財政基盤の確立に努めているか
 - ② 行政と市民等が協働してまちづくりを進めていくため、行政の役割や責任分担について市民の合意を得ながら見直しを行い、多様な主体との適切な役割分担を担ように取り組んでいるか
 - ③ 職員のコンプライアンス意識の徹底や行政活動に対するチェック機能の向上等により公正公平な行政運営を実施するとともに、選択と集中による視点で効果的で効率的な行政経営と事業やサービスの重点化を図りながら、市民に信頼されるスリムでコンパクトな行政を目指しているか
- (2) 飯田市行財政改革大綱「7 重点的に取り組む事項」関係
 - ① 選択と集中による行政サービスの再構築について
 - ア 行政コスト、事務効率及び事業効果に対する職員の意識改革の状況はどうか
 - イ 財政状況を踏まえた事務事業の精査の状況はどうか

- ウ 事務改善による経費の削減の状況はどうか
 - エ 施策をけん引し、施策の目標達成に特に貢献する事務事業への重点的な予算配分はなされているか
 - ② 多様な主体との協働によるまちづくりの推進について
 - ア 行政が担う役割とサービスの明確化及び行政の責任ある事務事業の展開は、どのようになされているか
 - イ 各種計画の策定が行われた場合は、事業の実施や評価段階における市民の参画機会が拡大されるようになっているか
 - ウ 民間が担う分野への市民、各種団体、事業者などの多様な主体の参入機会の拡大と民間への業務委託や指定管理者制度の導入等の状況はどうか
 - エ 協働のまちづくりの担い手となる地域、市民、事業者、NPO等の活動への支援は、どのように行われているか
 - オ ユビキタス社会の実現に向けた情報基盤の整備について、実施状況はどうか
 - ③ 長期的な視点に立った持続可能な行財政運営基盤の確立にについて
 - ア 持続可能な財政運営の実現について、歳入確保、歳出規模の適正化、経費節減等に取り組んでいる状況はどうか
 - イ 公の施設の管理の効率化、民営化等の推進と統廃合を含めた施設のあり方の検討の状況はどうか
 - ウ 負担金、補助金及び交付金の見直しの状況及び実施した事業等のその後の状況はどうか
 - エ 第3セクター等の経営状況の把握と必要に応じた適切な関与はどのようになされているか
 - ④ 公正公平で市民から信頼される行政の実現と、市民満足度が高く良質な行政サービスの提供について
 - ア 職員のコンプライアンス意識の徹底はどのように図られているか
 - イ 行政サービスの質的な向上に取り組んでいる状況はどうか
 - ウ 窓口サービス機能等の充実に取り組んでいる状況はどうか
- (3) 飯田市行財政改革大綱「9 改革プラン」関係
飯田市行財政改革大綱プラン（実行計画）について
- ① 飯田市行財政改革大綱における改革プランの実施状況
 - ② 飯田市公共施設マネジメントの取組状況・市民に信頼される行政サービスの向上の例はあるか
 - ③ 市民との協働のまちづくりへの取組はあるか
 - ④ 各種事務事業の進行管理及び精査を行っているか

第7 監査の結果

監査の結果、行財政改革大綱の目的に沿い、改革プラン（実行計画）に基づき行財政改革に取り組んでいることを認めた。市の財政が厳しい状況にある中、保育所の民営化や事業の統合等、時代の流れに沿った改革を実施していることを評価する。これらの取組を庁内に拡充するとともに、「いいだ未来デザイン2028」の各種施策を推進するため、新たな実行計画に基づき、更なる行財政改革を推進されたい。

また、次のとおり改善又は改善の検討を要する事項があったので、内容を十分把握して、それぞれ必要な措置を講じられたい。

【監査結果件数】

監査種類	部 署 名	監査結果件数		
		指摘事項	指導事項	検討要事項
面接監査	ムトスマちづくり推進課	0	0	1
	子育て支援課	0	0	1
	工業課	0	0	1
	生涯学習・スポーツ課	0	0	1
	合 計	0	0	4

【監査結果の区分】

指 摘 事 項：財務に関する事務の執行について、是正又は改善を求めるもの

指 導 事 項：是正又は改善を求める事項のうち、軽微なもの

検討要望事項：制度又は運用について改善の検討を求めるもの、複数の部署に対して統一的な指導を求めるもの

【検討要望事項】

1 ムトスまちづくり推進課

少子化・高齢化が進む中、地域が取り組む地域自治組織の役員数の見直しや事業のスリム化等について、それぞれの地域の特性にあった支援を検討されたい。

2 子育て支援課

飯田市公立保育所民営化方針による保育所民営化について、時代の流れにあわせ、的確に民営化が進んでいることを評価する。今後とも、地域の声に耳を傾け、地域の特性を十分に理解し、慎重に検討を進められたい。

3 工業課

事業の統合や移管等により経費の削減を図るだけではなく、成果を上げていることを評価する。今後とも、多様な主体と更なる連携を図り、時代にあわせた事業のあり方を常に検討されたい。

4 生涯学習・スポーツ課

多岐に亘る事務事業について、他部署や多様な主体と連携し、事業の効率化や質の向上に繋がるよう前向きに検討されたい。

第8 監査結果に基づき講じた措置の報告（地方自治法第199条第12項の規定に基づくもの）

平成28年度 監査報告書Ⅳ（行政監査）検討要望事項

検討要望事項	措置状況
<p>1 少子化・高齢化が進む中、地域が取り組む地域自治組織の役員数の見直しや事業のスリム化等について、それぞれの地域の特性にあった支援を検討されたい。</p>	<p>1 各地区の様々な取組について、市から委託、依頼等をしている事業も含め、庁内関係課や各地区まちづくり委員会の意見も聞きながら、役員数の見直しにも繋がるような事業のスリム化を目指して、地域の特性にあった支援を検討する。 (ムトスまちづくり推進課)</p>
<p>2 飯田市公立保育所民営化方針による保育所民営化について、時代の流れにあわせ、的確に民営化が進んでいることを評価する。今後とも、地域の声に耳を傾け、地域の特性を十分に理解し、慎重に検討を進められたい。</p>	<p>2 公立保育所民営化については市、保護者やまちづくり委員会などにおいて考え方が合致した場合や、保育の質の維持・向上等が前提条件とされている。 今後もその推進にあたっては、公立保育所民営化方針に基づき、地域の皆様との情報共有や協議に充分配慮し慎重に検討していく。 (子育て支援課)</p>

<p>3 事業の統合や移管等により経費の削減を図るだけでなく、成果を上げていることを評価する。今後とも、多様な主体と更なる連携を図り、時代にあわせた事業のあり方を常に検討されたい。</p>	<p>3 地域産業の振興に向けた各事業の実施については、広域連携、産学官金連携、異業種連携や多様な主体による事業参画等、一定のパートナーシップを構築したうえで、多くの関わりの中から事業を作り上げていくことが効果的である。</p> <p>今後、工業分野における各事業の実施にあたっては、ご指摘のとおり関係機関等との連携を図り、事業を検証しながら取り組んでいく。</p> <p>(工業課)</p>
<p>4 多岐に亘る事務事業について、他部署や多様な主体と連携し、事業の効率化や質の向上に繋がるよう前向きに検討されたい。</p>	<p>4 飯田やまびこマーチと飯田都市緑化祭、ゆるキャラ®天国 in りんご並木など、同日開催のイベントをお互いに併せてPRする(要項、チラシなどに掲載するなど)ことで、相乗効果で集客増に繋げている。また、飯田市安全大会においては、関係者が共通することなどから、危機管理室との連携による大会運営を行ってきている。</p> <p>今後とも事業の効率化や質の向上を念頭に、住民目線を大切にしながら、他部署や多様な主体との連携を検討していく。</p> <p>(生涯学習・スポーツ課)</p>